

3. 研究の目的

- 🌱 金融機関は、環境事業者が扱う財に対して、どのような基準で価格付けを行うべきか
- 🌱 価格評価での過度なリスク計上の有無
 - 金融機関の視点 「評価の算定過程、根拠」
 - 環境事業者の視点 「評価額に対する満足/不満」
 - 私の視点 「何が適正価格か」

環境金融の総論への還元？

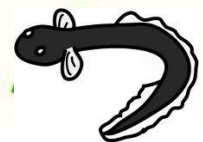
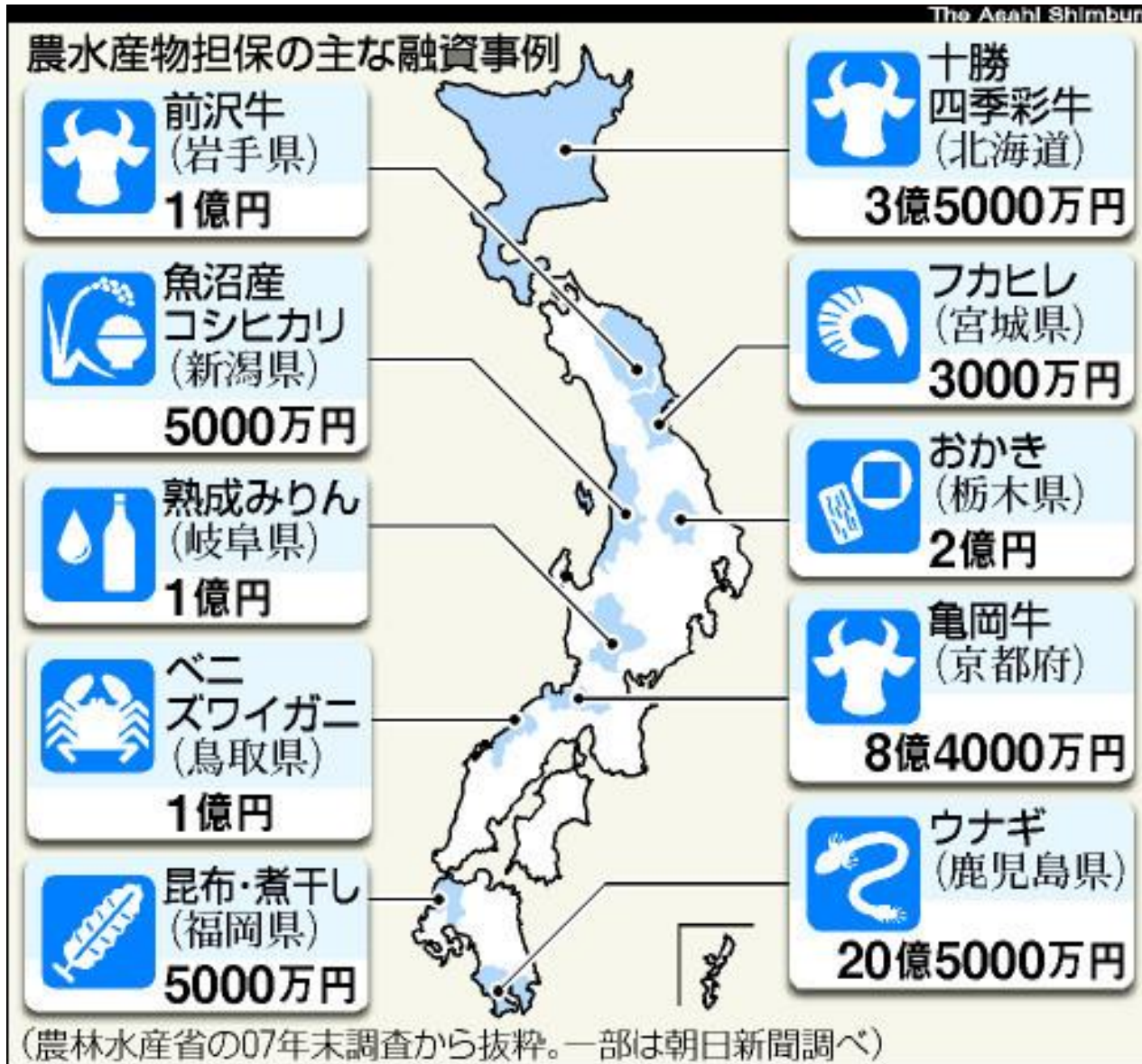


4.1 研究の対象

- 🌱 ABL (Asset Based Lending : 動産・債権担保融資)
動産や売掛金を担保に融資を受けること
典型的な動産 : 機械、衣料品、飲食品加工物、原材料
- 🌱 特に農水産物の担保評価価値を扱う
- 🌱 農水産物と機械類を対比的に論じることができる利点



4.2 農水産物担保の主な融資事例



5. 研究の手法

- 🍃 文献調査（先行研究、社会調査結果）
明確な仮説の定立と現地での調査項目作成のため
- 🍃 モデル事例による現地調査
審査項目、担保評価基準の蓄積のため
担保評価額における満足度調査のため
* 調査事例数の蓄積が必要 ⇔ 旅費の確保

🍃 経済的手法を用いるとしたら、どのような論点に対して、
どのような手法を採り得るか検討が必要



6. 研究のフローとスケジュール

春学期

文献調査

研究資金の確保

仮説の定立、調査項目の作成

夏休み

現地調査初め

年内

調査方法の見直し

現地調査終了

秋学期終了

結果の分析

春休み

修論執筆へ向けた研究の見直し



参考文献

- 環境省(2010)、「環境白書平成22年版」
- 環境省(2002)、「金融業における環境配慮行動に関する調査研究報告書」
- 環境省(2003)、「社会的責任投資に関する日米英3か国比較調査報告書」
- 経済産業省(2010)、「産業構造ビジョン概要」

- 日立環境財団(2011)、環境研究No.161
- 野村総合研究所(2008)、「動産・債権担保融資(ABL)の普及・インフラ構築に関する調査研究」
- 野村総合研究所(2009)、「ABLの普及・活用に関する調査研究報告書」

- 藤井良広(2005)、「金融で解く地球環境」
- 金融機関の環境戦略研究会(2005)、「金融機関の環境戦略」
- 朝日新聞特別取材班(2010)、「エコ・ウォーズ」

- 朝日新聞記事、2008年12月12日、「ウナギ・和牛・マグロ...名産品担保に融資、急増」



Thank you for paying attention.

